「世界の持続可能な（サステナブル）船舶燃料市場2022年－2031年：種類別（水素、アンモニア、メタノール、バイオ燃料、その他）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年12月6日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の持続可能な（サステナブル）船舶燃料市場2022年－2031年：種類別（水素、アンモニア、メタノール、バイオ燃料、その他）」調査資料の販売を2022年12月6日
に開始いたしました。持続可能な（サステナブル）船舶燃料市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界の持続可能な（サステナブル）船舶燃料市場2022年－2031年：種類別（水素、アンモニア、メタノール、バイオ燃料、その他）
■英文タイトル：Sustainable Marine Fuel Market （Type: Hydrogen, Ammonia, Methanol, Biofuels, and Others） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年11月16日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
船舶燃料の持続可能性とは、安全で包括的、かつアクセス可能で信頼性の高い輸送インフラとサービスを提供する能力を意味します。また、これらのサービスは、透明性が高く、手頃な価格で、燃料効率が高く、環境に優しいものでなければならない。

環境に優しい船舶用燃料は、HFOやその他の石油系船舶用燃料と比較して、温室効果ガス（GHG）排出量を削減する道筋として認識されています。また、高価な排気ガス規制を導入することなく、大気の質を改善し、港湾地域の環境保護に貢献します。グリーンマリン燃料はもともと硫黄分が少ないため、硫黄酸化物、窒素酸化物、粒子状物質などの大気汚染物質の発生が少なく、また、硫黄酸化物や窒素酸化物、粒子状物質の発生を抑制することができます。

世界の海上輸送は、温室効果ガス排出量全体の約3.0%を占めています。これには、小型のレジャー用ボートや大型のコンテナ船などが含まれます。持続可能な（サステナブル）船舶燃料は、石油系燃料に比べて二酸化炭素排出量が少ないため、GHG排出量の削減に重要な役割を果たしています。したがって、持続可能な（サステナブル）船舶燃料は、海運セクターにおけるエネルギー安全保障の推進に貢献します。HFOをはじめとする石油系燃料は、硫黄分が比較的多く含まれており、燃焼時に硫黄酸化物として排出されます。
世界のさまざまな国がネット・ゼロ・エミッションの達成に注力しています。このことは、近い将来、市場の発展を促進すると予想されます。欧州連合（EU）は、技術革新に重点を置き、海運セクターの脱炭化に注力しています。また、内陸および海上の港における陸上電力供給の展開も支援しています。
クリーンで低炭素な燃料に対する支援政策の高まりは、市場の拡大を後押しする。持続可能な燃料の生産と採用を拡大するためには、政府の好意的な政策が必要で、これらの政策を管理するために、強固で合理的な規制の枠組みを導入する必要があります。しかし、世界の大部分は依然として炭素や排出物を多く含む燃料に依存しています。化石燃料の燃焼効率、車内での炭素回収、排出ガスの緩和などの進歩が、これらの地域におけるエネルギー転換の一助となる可能性があります。

海運業界は、世界貿易の90%以上を占めています。約9万隻の船舶を有する海運業界は、世界的な汚染と気候変動に大きく貢献しています。気候変動は、政府、社会、産業界が一体となって取り組むべき最も緊急なグローバル課題の一つです。
サステイナブル燃料は、燃料電池や単燃料内燃機関に使用した場合、ゼロカーボン舶用燃料となる可能性を秘めています。サステイナブル燃料は、デュアルフューエル内燃機関で消費された場合、二酸化炭素排出量を大幅に削減することができます。硫黄分の排出を99％以上、窒素酸化物や粒子状物質の排出を80％以上削減し、二酸化炭素は最大で20％削減することが可能です。2020年に実施された第4回IMO
GHG調査によると、2050年までに排出削減努力の60％以上がゼロ・低炭素型船舶燃料によって達成されるとされています。このように、低炭素船舶用燃料の利用が増加することで、予測期間中に持続可能な（サステナブル）船舶燃料産業が促進されると予想されます。

最新の持続可能な（サステナブル）船舶燃料の市場動向によると、2021年にはメタノールセグメントが種類別に58.6%の主要シェアを占めています。メタノールは、数種類の原料から合成でき、低硫黄燃料として高い可能性を持っているため、低炭素の代替燃料として注目を集めています。メタノールは再生可能な資源を使用して製造することができ、メタノールの採用により、硫黄、NO3、粒子状物質の排出が少ないです。

用途別では、フェリー分野が2021年に27.5%のシェアを獲得し、世界市場を支配しています。フェリーの船主は、GHG排出量と大気汚染を削減するために、持続可能なソリューションへのシフトを強めています。

アジア太平洋地域は、2021年に世界事業の53.2%という突出したシェアを占めています。同地域の市場は、予測期間中に大きなペースで成長すると思われます。厳しいエネルギー規制の実施急増が、アジア太平洋地域の海洋セクターにおける持続可能な燃料の採用を後押ししています。中国

は、従来のエネルギー部門における排出量削減に注力しているため、同地域における持続可能な（サステナブル）船舶燃料の主要市場となっています。
欧州は2021年に32.6%の顕著なシェアを占めています。この地域の市場発展は、2050年までに海運セクターのGHG排出量を少なくとも40%削減するための厳しい規制の実施に起因していると考えられます。中東・アフリカと中南米は、他の地域と比較して、持続可能な（サステナブル）船舶燃料の市場としては比較的マイナーな存在です。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/sustainable-marine-fuel-market-type-hydrogen-ammonia-methanol-biofuels/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency-Market-Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.co.jp/
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com